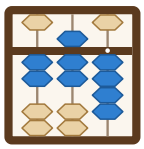
かけ算の やりかた⑥（3けた×3けた）

こたえ

そろばん



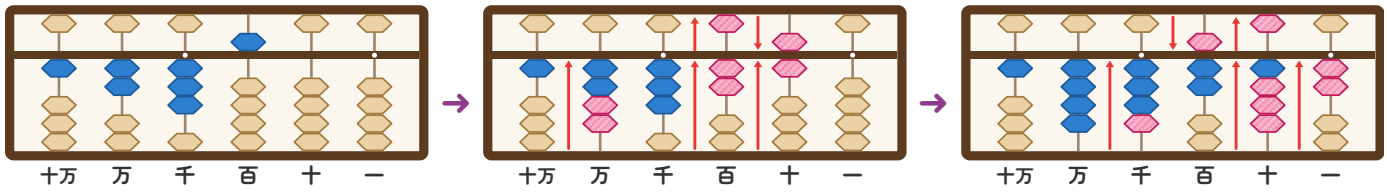
ポイント

けたが ふえても、かけられる数の 上の けたから じゅんに、かける数の 1けたずつ かけて 九九の こたえ（2けた）を たします。

百×百 → 十万・万、十×十 → 千・百 のように、くらいを たしざんして おく ばしょを きめる。※ 教室に よって やりかたが ちがう ことが あります。

1 586×247 の やりかたを たしかめよう。

とちゅう 1つ2てん・こたえ 12てん（30てん） きほん



5×247：10・20・35　　8×247：16・32・56　　6×247：12・24・42

① 5×2＝ 10 →十万・万　5×4＝ 20 →万・千　5×7＝ 35 →千・百

② 8×2＝ 16 →万・千　8×4＝ 32 →千・百　8×7＝ 56 →百・十

③ 6×2＝ 12 →千・百　6×4＝ 24 →百・十　6×7＝ 42 →十・一

こたえ 586×247＝ 144742

2 3058×46 を やってみよう（4けた×2けた）。

0×○＝00 は たさない。

とちゅう 1つ2てん・こたえ 14てん（30てん） きほん

① 3×4＝ 12 →十万・万　3×6＝ 18 →万・千

② 0×4＝ 00 →万・千　0×6＝ 00 →千・百

③ 5×4＝ 20 →千・百　5×6＝ 30 →百・十

④ 8×4＝ 32 →百・十　8×6＝ 48 →十・一

こたえ 3058×46＝ 140668

3 かけ算を しましょう。

1つ10てん（40てん） きほん

(1) 777×336＝ 261072　(2) 363×697＝ 253011　(3) 2135×12＝ 25620

(4) 58×4526＝ 262508

九九の こたえ（2けた）：(3) 02・04・01・02・03・06・05・10

こたえを みたら、もう いちど やってみよう。　あかい じが こたえ。